

情報通信審議会情報通信技術分科会 ITU 部会
周波数管理・作業計画委員会第 14 回会合議事概要

1 開催日時

平成 30 年 2 月 5 日（月） 14:00～14:57

2 場所

総務省（合同庁舎第 2 号館） 8 階 第 4 特別会議室

3 出席者（敬称略）

・ 専門委員：

小林 哲、阿部 宗男、市川 武男、岩間 美樹、加保 貴奈、田村 知子、小川 博世、西田 幸博、橋本 明、浜口 清、松永 彰、矢野 由紀子

・ 関係者：

石毛 克行、工藤 則安、久保田 文人、庄木 裕樹、高尾 浩平、田北 順二、竹林 康雄、立木 将義、龍野 真哉、田中 謙治、徳田 裕司、中村 隆治、西本 友成、野田 華子、博多 宣雄、三留 隆宏、宮寺 好男、森本 伸一、山崎 浩史、山本 勝美、山脇 匡勝

・ 事務局：

木村 裕明、網野 尚子、安田 匡宏、小木曾 彩菜

4 議事

1 WP1A, WP1B 会合について

(1) WP1A, WP1B 会合（昨年 11 月開催）の結果報告

2 RAG 会合の対応について

(1) 提出予定日本寄与文書（案）の審議

(2) 対処方針（案）の審議

3 その他

5 議事概要

(1) WP1A, WP1B 会合（昨年 11 月開催）の結果報告

資料 14-1 に基づき、事務局から説明が行われた。意見交換での主なコメントは以下のとおり。

（橋本）この報告に限らないが、各資料で「平成」を使うと ITU 関係の会合との時間軸がわかりにくいので、西暦表記が望ましいと感じる。

（事務局）以降そのように変更したい。

（小林）WPT について、11 月 WP 会合後に RG（ラポーターグループ）の編成が変更となり、WP の前日の半日だけの開催とし、活動は継続するものの次回会合にむけた別途の RG 会合は行わないこととなった。実会合は行わな

いが、GPM テキストをまとめるため、2018年3月1日までにGPM テキスト案の寄書を各国から提出することとされており、3月末までにRGにて取りまとめのうえ、6月のSG1 ブロック会合に入力するスケジュールである。そのため、RGへの入力寄書について、今後メール審議を行うこととしたい。

(2) 提出予定日本寄与文書（案）の審議

RAG 会合における日本寄与文書（案）について、資料 14-2-1 は事務局から、資料 14-2-2 は NHK 西田氏からそれぞれ説明が行われた。意見交換での主なコメントは以下のとおり。

■資料 14-2-2 について

- (小林) 実情として、ISM の勧告では annex において ISM の定義に係る記載があるが、この部分は informative であるにも関わらず、あたかも ITU の文書で正式に規定されているかのように normative と捉えられている風潮がある。注記や脚注の捉え方は様々であるので、本提案に対して一部の国からは反対意見も出ることが予想される。
- (西田) 仮にフォーマットの改定が承認された場合、勧告への適用は、RAG 会合の 2 ヶ月後からを提案している。
- (小林) RAG は 3 月下旬であるので、2 ヶ月後以降となると 6 月の WP での新規或いは修正の勧告では本変更を反映することとなるので留意。
- (橋本) 本提案は、現状から実質的に改める点は多くないものの、同趣旨の修正がいくつかあり、RAG で合意得ようとするならば、シンプルな表現が受け入れられやすいので、簡潔化を検討されると良いのでは。

(3) 対処方針（案）の審議について

RAG 会合における日本の対処方針（案）について、資料 14-3 及び参考資料 4 に基づき事務局から説明が行われた。意見交換での主なコメントは以下のとおり。

- (西田) 戦略計画についての ITU の 1 回目のパブコメは去年 6 月に行われ、日本からも意見を提出したかと思うが、今公開されているものにどう反映されているのか。また今回はどのような対応をする予定なのか。
- (事務局) 確認のうえ共有する。
- (阿部) 参考資料 4 の 2 ページ目のアウトカム指標にて「モバイルブロードバンドに係る定期購読」とあるが、加入者の割合という意味ではないか。
- (事務局) その通りなので修正したい。

(4) その他

事務局から、RAG 会合の外国寄与文書審議表について、今後メール審議とする旨が周知された。

次回の周波数管理・作業計画委員会は、来年6月に開催が予定されている SG1
ブロック会合の対処を検討するため5月中旬頃開催予定であり、日程については
主査と相談した上で別途案内する旨が周知された。

以 上